

## スタッフからのメッセージ

### 片木美穂

リレー・フォー・ライフ芦屋2010講演会「知ろう! 学ぼう! 女性のがんと子宮頸がん予防ワクチン」は兵庫県立がんセンターの須藤保先生の講演、須藤先生とサバイバーのトークショーの2本立てでした。会場は満席で立ち見も出るほどで、トークショーでは参加者のみなさんからも積極的な意見が出され女性のがんについて改めて考える講演会となりました。

### 立石貴久

「正しい癌治療の受け方」を話すことで闘病の辛さを軽減し、RFL芦屋ボラスタ初参加。他のボラスタさんやサバイバーさんの「土気」「元気」を目の当たりにしてサバイバーとしての「使命感」を強く持ちました。

### 北山マキ子

いのちの輝き、人との繋がり有難さそして旅立たれた方たちから教えてもらういのちの尊さ、時間の大切さ痛みや苦しみをみんなで軽くして、明日に向かってまた1歩ずつ歩いていける、そんな場所だったと思います。

### 丁英哲

不安と緊張で一杯でしたが、日が暮れてイルミネーションが燈るとキレイな景色になり、その中を参加者の方々、ボランティアの方々、みんながそれぞれの役割を果たして、素晴らしいイベントになりました。その中に加われたことに感謝します。

### Y.I

初参加させて頂きました。会場はご来場の方、スタッフの皆さんの優しい笑顔であふれていました。やわらかな灯のルミナリエ、温かい応援の数々、感動しました。足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。

### K.T

今がんと向き合っているかいないかに関わらず誰もが集い、皆一緒にかんについて考えていける事が、他のイベントにはないRFLの凄いいところだと、改めて感じた4回目のRFLでした。



## 収支報告

一般募金	626,037
キャンドルラン	806,914
ウォーク	466,000
ルミナリエ募金	163,500
企業協賛	876,343
Tシャツ等	391,300
屋台寄付等	42,331
自動販売機他	147,085
<b>収入小計</b>	<b>3,519,510</b>
前期繰越	200,000
<b>収入総合計</b>	<b>3,719,510</b>
<b>大会運営費</b>	<b>2,736,589</b>
事務局費	144,620
企画関係費	554,674
製作物費	1,195,485
会場借入費	198,110
会場設営費(テント費用込み)	198,806
会場警備費	100,800
ステージ演出・音響費	7,680
ルミナリエ費	234,891
食料費(ボランティア・エイド等)	101,523
<b>諸経費</b>	<b>187,643</b>
傷害保険	5,000
雑費(通信料・交通費等)	182,643
<b>支出小計</b>	<b>2,924,232</b>
国際対がん協会寄付	37,195
日本対がん協会へ寄付	558,083
来年度活動費	200,000
<b>支出総合計</b>	<b>3,719,510</b>

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2010芦屋にご支援・ご協力  
ありがとうございました!

募金箱を置いてくださった方々

## 協賛

MSD(株)(旧 万有製薬)  
グラクソ・スミスクライン(株)  
(株)まんぼう  
中外製薬(株)  
日本イーライリリー(株)  
小林製薬(株)  
ファイナンシャルアライアンス(株)  
日本興亜生命(株)  
日本興亜損害保険(株)  
損保ジャパンひまわり生命(株)  
明治安田生命(株)  
ソニー生命保険(株)  
エース損害保険(株)  
あずさ監査法人  
(株)フィッシングマックス  
SRIスポーツ(株)  
(株)ブリジストンスポーツ西日本  
ミスノスポーツサービス(株)  
江崎グリコ(株)  
(株)日本トリム  
コカ・コーラウエスト(株)  
オルファ(株)  
(株)インポータント・ミッション  
サンスター(株)

(順不同)

## Special Thanks

### 協力

芦屋市立芦屋病院  
芦屋市自治会連合会  
川西町自治会  
平田北町自治会  
芦屋市社会福祉協議会  
芦屋市各コミスク  
国際ソロプチミスト神戸東  
国際ソロプチミスト芦屋  
国際ソロプチミスト六甲  
芦屋川ロータリークラブ  
芦屋東ライオンズクラブ  
芦屋業平ライオンズクラブ  
芦屋ハーモニーライオンズ  
(特活)芦屋サッカークラブ  
芦屋市サッカー協会  
芦屋ソフトボール協会  
芦屋卓球協会  
芦屋市少林寺拳法協会  
アスレック【Athle-C】  
小山音楽教室のみなさん  
(有)DTP base camp  
PMOあしや  
(有)オリジナルプリント虹工房  
手描きの小部屋  
(有)トラストフードサービス  
芦屋のおうどん みつまる庵  
(株)資生堂  
資生堂販売(株)  
(特活)さをりひろば  
(株)コミュニティブロテュースNAMAZU

(株)銀工房  
(株)ひまわり  
(財)木口ひょうご地域振興財団  
赤塚治療院  
赤穂化成(株)  
システムポリマー(株)  
(株)ミトモータルプランニング  
(株)ショウワ  
卵巣がん体験者の会スマイリー  
ソニー生命のみなさん  
アリコジャパンのみなさん  
ジブラルタ生命のみなさん  
公益社ひだまりの会のみなさん  
あずさ監査法人のみなさん  
神戸学院大学焦ゼミのみなさん  
大阪音楽大学のみなさん  
芦屋学園のみなさん  
清風学園高校のみなさん  
神戸市立神戸工科高校のみなさん  
I LOVE ASHIYA  
さくら企画  
ふとつちよの木  
関本クリニック  
関麺の会  
(株)ワントウワン  
しげむら整骨院  
AIS芦屋ユースバレー団  
KINTARO CLUB  
Fiber Zoom  
芦屋川みさ鍼灸整骨院

旬・菜・魚 しらん  
(有)山村伊佐衛門商会  
CUT HOUSE エルフロック  
dog & pet ショップ george  
和食 銀しゃり  
橋本金物  
宮崎内科クリニック  
上住歯科医院  
共栄薬局  
調剤薬局グラシア  
自転車りんりん  
(財)ローランド芸術文化振興財団  
(財)京都市女性協会  
NPO法人京都がん医療を考える会  
神戸大学医学部付属病院  
神戸共同病院  
生活共同  
アンダーウェアショップ「nana」  
奥村機械(株)  
チーム“がんでもいいじゃん♪”  
生活共同組合コープこうべ高丸店  
レストランオリエンタル  
兵庫県立がんセンター 須藤 保 先生  
デューク更家さん  
石川 遼 プロ  
谷 昭範 プロ  
上原 彩子 プロ  
山本 スギ乃さん  
曾田 義嗣さん  
アグネス チャンさん



がん患者支援チャリティ・イベント 芦屋市教育委員会設置60周年記念/商工会法施行50周年記念

# Relay For Life Ashiya 2010

リレー・フォー・ライフ 芦屋2010 9/11(SAT) ▶12(SUN)

## 活動報告書

**主催:**リレー・フォー・ライフ関西実行委員会/ (財)日本対がん協会 **共催:**特定非営利活動法人 芦屋市体育協会  
**後援:**厚生労働省/兵庫県/芦屋市/姫路市/兵庫県医師会/芦屋市医師会/芦屋市教育委員会/芦屋市商工会/  
芦屋観光協会/(特活)あしやNPOセンター/(財)兵庫県健康財団/(財)芦屋ハートフル福祉公社/  
(社)芦屋カンツリー倶楽部/芦屋市ゴルフ協会  
**支援:**アメリカ対がん協会



芦屋市制施行  
70周年記念事業

■ お問い合わせ リレー・フォー・ライフ関西実行委員会

E-mail info@rfl-ashiya.net | ホームページ http://rfl-ashiya.net



# リレー・フォー・ライフ 芦屋2010を 応援くださった全ての方へ



## 山田 啓蔵 リレー・フォー・ライフ 芦屋 実行委員長

開会式はこの一年を心待ちにしていたサバイバー達のウォークで幕を開けました。今年もここに参加できた喜びをかみしめているように、一歩一歩を踏みしめて行進していました。ルミナリエセレモニーではHOPEの文字と周囲するトラックの周りをルミナリエで照らされた会場で、ロウソクを手に持った人々が、見つめる中、バイオリンの生演奏をバックに、エンブティーテーブルの朗読が、ひときわ皆さんの注目を集めました。芦屋では、総合公園から、市街地の川西運動場での開催になったのを機に、ルミナリエを全てLEDに換えました。これにより、夜を通してルミナリエを点灯することができました。また、ルミナリエに書かれているメッセージを皆さんがじっくり読んで頂くこともできたと思います。キャンドルランで夜を過ごしましたが、夜中の12時

にも関わらず、大勢のランのメンバーやウォークのメンバーが周回する場面は、感動的でした。快晴の中、フィナーレで皆える迎えることができました。サバイバーフラッグを先頭に、がんサバイバーの人々、遺族の方々、支援者の皆さんが一体となってラストウォークは、皆の気持ち一つにし、「今年も頑張った」「来年もまた、よろしく!」、皆がお互いに「ご苦労さん」と感謝しながらのフィナーレでした。今年の来場者は2日間で約2,300人に達し、多くのサバイバー、家族、遺族、サポーターたちに参加して頂きました。それぞれ、皆さんの背景や立場、その時の状態により、感じる事が違うと思います。しかし、病院でも、家庭でも、お互いに話をする機会はほとんど無いのが現実です。芦屋では、

これら参加者が気軽に話し合い、触れ合うことで、いろいろと感じて頂ければと思っています。「がん」はやはり厳しい病気だと思います。だからこそ、リレー・フォー・ライフの活動を通じて、励まされたり、癒されたり、あるいは感謝されたりすることが出来ればと思っています。芦屋でのリレー・フォー・ライフは2007年から今年で4回目となります。全国で4回を継続的に実施しているのは芦屋だけです。このように継続して開催できているのも、ご来場くださった皆さま、地元協力団体の方々、ボランティアの方々、協賛・後援団体の皆さま、メディアの方々、全国からご声援くださった皆さまのお陰です。本当にありがとうございました。また、来年、芦屋でお会いしましょう。



## 中澤 清浩 リレー・フォー・ライフ 芦屋 副実行委員長

この芦屋の地でリレー・フォー・ライフが4年にわたり開催できたのは地元の皆さまのおかげです。数多くのチャリティスポーツイベントも行われました。本当にありがとうございました。感謝いたします。今回は川西運動場にメイン会場を移し、芦屋市長をはじめさまざまな団体、個人のご支援、ご協力をいただきました。芦屋の中心地で開催できたことで、よりリレー・フォー・ライフの感動が多くのの方々々に伝わったのではないかと思います。

「イベントは一日にして成らず。」昨年からの地元のサポートがあったからこそ、開催できたのではなかったかと思えます。ひとつのことを続けて行くにはさまざま試練があります。もっと良くしていきたい、ここをこう変えたらいい…。こういう想いを年々積み重ねて行くことによって、よりよいものになっていくのではないのでしょうか。来年もよりよいリレー・フォー・ライフになりますように…。また、芦屋でお会いしましょう。

皆さま本当に  
ありがとうございました



## 城村 勉 リレー・フォー・ライフ 芦屋 副実行委員長

リレー・フォー・ライフ(RFL)への参加は連れ合いのスキルス(胃がんの一種)がきっかけでした。病院のベッドでテレビから2007年のRFL芦屋の様子がニュースで流れているのを見ながら、「私も行きたい、同じ病気の仲間がいるかもしれない」と言い、実際には私だけが現場に行ってみて、病室でその様子を報告したのが最初の出会いでした。2008年、連れ合いの乗った車を押しながら実行委員会に一度だけ一緒に参加したのですが、RFL本番では子供たちと遺影を抱きながら歩き、何も解らぬままスタッフとしてのお手伝いが始まりました。改めて「連れ合いがRFLに参加したがっていたのは何なんやっつたんやろ?」との思いを持ちつつ、

我が子やその同級生たちも無理から巻き込んで彼らへボランティアの強要(?)をし、自分自身はより楽しむことを心がけて参加したのが2009年でした。今年2010年は中心スタッフを仰せつかり、「自分には何が出来るのだろうか?」という自問自答からスタートしました。その答えの一つとして、今まで気付かなかった地元の方々の支援、協賛いただいている数々の企業・団体、医療関係者、行政、何よりも有形・無形のかたちを問わずお手伝いいただいたボランティアの皆さん方から支えていただいているイベントであることを今さらながら再確認しました。RFL芦屋とは、サバイバーやその家族、遺族だけではなく、これから生まれて来る子供たちも含め、すべての人たちにとって、

「地域社会全体でがんと向き合う」ことの重要性を全国に発信し続けるチャリティイベントであるべきなのでは、と今は考えています。またRFL芦屋に「最後」はない、とも考えています。途切れることなく続くRFL芦屋のリレーこそが「命のリレー」です。そのためにも、誰もが「出来るときに、出来るかたちで、無理なく、楽しく、マイペース」でお手伝いでき、参加できるRFL芦屋を目指したいと思います。そして2011年、今年以上に多くの笑顔が芦屋の地に集い、新たな出会いと感動が生まれることを楽しみにしております。最後に、RFLにかかわっていただいたすべてのボランティアの方々へ、心より感謝申し上げます。「ありがとうございました。また、来年!!!」

### 寄付のお願い

リレー・フォー・ライフ関西実行委員会は、活動に賛同いただいた皆様からの協賛金によって運営されております。来年以降の継続的な運営の為にも、より多くの皆様からのご寄付を受付しております。

郵便振替口座: 00970-0-319325  
 リレーフォーライフ関西実行委員会  
 (※振込手数料はご負担ください)